

東京都立葛飾総合高等学校 令和6年度年間授業計画 教科 国語 科目 現代の国語

教科：教科 国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（ A組： 星野 ）（ B組： 田島 ）（ C組： 星野 ）（ D組： 田島 ）（ E組： 星野

使用教科書：（ 現代の国語（第一学習社） ）

教科 教科 国語 の目標：

- 【知識 及び 技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

領域名：（書くこと、読むこと）

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉の効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			読・聞	書	読					
1 学 期	『世界は謎に満ちている』 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。	・指導事項 語彙を増やし論理的に読む。 ・教材 『世界は謎に満ちている』 ・一人1台端末の活用 等 課題の提出。				・筆者の主張である「好奇心」さえ持ち続けていれば、夢やロマンは失われないということを理解したうえで、筆者の例示が適切かどうか評価する。 ・筆者の主張を自分の言葉に置き換えることや、自身が抱える謎についてのいけんをまとめさせ主体的に取り組んでいる。				6
	定期考査									1
	『言葉遣いとアイデンティティ』 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉え、要旨をまとめようとしている。	・指導事項 論理の構成を理解して読む。 ・教材 『言葉遣いとアイデンティティ』 ・一人1台端末の活用 等 課題の提出。				・人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。				11
	定期考査									1
2 学 期	『ステレオタイプの落とし穴』 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・表現力・判断力】 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、本文を学習する前後で他の生物に対する自身の感じ方に変化があったかどうかを考え、積極的に自身の感想を発表しようとしている。	・指導事項 論理の構成を理解して読む。 ・教材 『ステレオタイプの落とし穴』 ・一人1台端末の活用 等 課題の提出。				・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。				13
	定期考査									1
	『人はなぜ仕事をするのか』 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の	・指導事項 論理の構成を理解して読む。 ・教材				・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				

3 学 期	構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・表現力・判断力】 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	『人はなぜ仕事をするのか』 ・一人1台端末の活用 等 課題の提出。			○	○	・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。	○	○	○	11
	定期考査							○	○	○	1
	『イースター島になぜ森がないのか』 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉え、要旨をまとめようとしている。	・指導事項 効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 ・教材 『イースター島になぜ森がないのか』 ・一人1台端末の活用 等 課題の提出。			○	○	・関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 ・文章の構成や表現のしかたについて、多面的・多角的な視点から評価する。 ・イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。	○	○	○	12